

# F分布の BASIC による数値計算

川口俊郎・川上弘泰

九州産業大学国際文化学部 (1997年5月21日受理)

## 緒言

F分布の数値計算用の BASIC プログラムを作成した。その内容は、  
(1) 任意の自由度  $\phi_1$  と自由度  $\phi_2$ , および  $F_\alpha$  値に対する上側確率  $\alpha$  の算出。  
(2) 任意の自由度  $\phi_1$  と自由度  $\phi_2$ , および上側確率  $\alpha$  に対する  $F_\alpha$  値の算出。  
などである。

F分布は二つの正規母集団の母分散の比の推定や検定, 二項母集団に関する区間推定や検定, 分散分析法のF検定など, 推計学では多岐にわたって利用されている。

ここで報告するパソコン (富士通: F-BASIC 86 HG コンパイラ使用) 用の BASIC プログラムは, 推計学処理の副プログラムとして, 容易に主プログラムに組み込むことができる。

## 1. F分布<sup>(1),(2)</sup>

$\chi_1^2$ が自由度  $\phi_1$  の  $\chi^2$  分布に従い,  $\chi_2^2$ が自由度  $\phi_2$  の  $\chi^2$  分布に従い, さらに  $\chi_1^2$  と  $\chi_2^2$  が互いに独立であるとき, (1)式の変数  $F$  は, 自由度  $(\phi_1, \phi_2)$  の F分布に従う。

F分布の確率密度関数は(2)式で定義され, その平均と分散は, それぞれ(3)式で与えられる。ただし,  $B$  は  $\beta$  関数を表す。

F分布の分布関数, あるいはその下側確率  $P(F; \phi_1, \phi_2)$  は(4)式で定義され, これに対する上側確率  $\alpha$  は(5)式で算出される。

このときのF値が, F分布の100 $\alpha$ %点であり,  $F(\phi_1, \phi_2; \alpha)$  または  $F_\alpha$  (以下, F値と略す) で表す。

## 2. F分布と $\chi^2$ 分布との関係

一般に F分布表には, 50%点以下の F値しか記載されていない。50%点以上の F値は, (6)式の関係から算出することができる。

$F$  分布と  $\chi^2$  分布との関係は、(7)式と(8)式で与えられ、 $\phi_2 = \infty$  の場合は(7)式、 $\phi_1 = \infty$  の場合は(8)式を使用して、 $F$  値の算出を行う。ただし、(8)式は(6)式および(7)式から導かれる。

$$F = \frac{\chi_1^2}{\phi_1} / \frac{\chi_2^2}{\phi_2} \quad (1)$$

$$f(F; \phi_1, \phi_2) = \frac{\phi_1^{\frac{\phi_1}{2}} \phi_2^{\frac{\phi_2}{2}} F^{-\frac{\phi_1}{2}-1}}{B(\frac{\phi_1}{2}, \frac{\phi_2}{2})} (\phi_2 + \phi_1 F)^{-\frac{\phi_1+\phi_2}{2}} \quad (2)$$

$$\left. \begin{aligned} \text{平均: } E\{F\} &= \frac{\phi_2}{\phi_2 - 2} && \dots \phi_2 > 2 \\ \text{分散: } V\{F\} &= \frac{2\phi_2^2(\phi_1 + \phi_2 - 2)}{\phi_1(\phi_2 - 2)^2(\phi_2 - 4)} && \dots \phi_2 > 4 \end{aligned} \right\} \quad (3)$$

$$P(F; \phi_1, \phi_2) = \int_0^F f(F; \phi_1, \phi_2) dF \quad (4)$$

$$\alpha = 1 - P(F; \phi_1, \phi_2) = \int_F^\infty f(F; \phi_1, \phi_2) dF \quad (5)$$

$$F(\phi_1, \phi_2; \alpha) = \frac{1}{F(\phi_2, \phi_1; 1 - \alpha)} \quad (6)$$

$$F(\phi, \infty; \alpha) = \frac{\chi^2(\phi; \alpha)}{\phi} \quad (7)$$

$$F(\infty, \phi; \alpha) = \frac{1}{F(\phi, \infty; 1 - \alpha)} = \frac{\phi}{\chi^2(\phi; 1 - \alpha)} \quad (8)$$

### 3. $F$ 分布と $\beta$ 分布との関係

$\beta$  関数は(9)式で定義され、 $\beta$  分布の確率密度関数は、(10)式で定義される。 $\beta$  分布の平均と分散は、それぞれ(11)式で与えられる。

$\beta$  分布の  $\mu$  と  $\nu$  および  $x$  を(12)式のようにおき、(10)式を変形すると、(13)式の  $F$  分布と  $\beta$  分布との確率密度関数の関係が得られる。

この関係を利用して  $\beta$  分布の漸化式を、 $F$  分布の数値計算に利用することができる。

$$B(\mu, \nu) = \int_0^1 x^{\mu-1} (1-x)^{\nu-1} dx \quad (\mu > 0, \nu > 0) \quad (9)$$

$$\left. \begin{aligned} f_B(x; \mu, \nu) &= \frac{1}{B(\mu, \nu)} x^{\mu-1} (1-x)^{\nu-1} \\ (0 < x < 1, \mu > 0, \nu > 0) & \end{aligned} \right\} \quad (10)$$

$$\left. \begin{aligned} \text{平均: } E_B\{x\} &= \frac{\mu}{\mu + \nu} \\ \text{分散: } V_B\{x\} &= \frac{\mu\nu}{(\mu + \nu)^2(\mu + \nu + 1)} \end{aligned} \right\} \quad (11)$$

$$\left. \begin{aligned} \mu &= \frac{\phi_1}{2}, \quad \nu = \frac{\phi_2}{2} \\ x &= \frac{\phi_1 F}{\phi_2 + \phi_1 F}, \quad dx = \frac{\phi_1 \phi_2}{(\phi_1 F + \phi_2)^2} dF \end{aligned} \right\} \quad (12)$$

$$f(F; \phi_1, \phi_2) dF = f_B(x; \frac{\phi_1}{2}, \frac{\phi_2}{2}) dx \quad (13)$$

#### 4. $\beta$ 分布の漸化式

(10)式を0から $x$ まで積分した、 $\beta$ 分布の分布関数を(14.1)式で表せば、この $I_x$ の漸化式として(14.2)式、および(14.3)式が導かれる。

ここで使われた $U_x$ は(15.1)式で表され、(15.1)式の形から $U_x$ の漸化式として(15.2)式、および(15.3)式が導かれる。

#### 5. $\beta$ 関数と $\Gamma$ 関数との関係

$\beta$  関数と $\Gamma$ 関数との関係は、(16)式で与えられる。この(16)式を利用して $\beta$  関数は、 $\Gamma$  関数から計算することができる。

ただし、これらの(14.1)式~(16)式を $F$ 分布の数値計算に適用するためには、(12)式の変換が必要である。

$$\left. \begin{aligned} I_x(\mu, \nu) &= \int_0^x \frac{1}{B(\mu, \nu)} x^{\mu-1} (1-x)^{\nu-1} dx \\ &(0 \leq x \leq 1, \mu > 0, \nu > 0) \end{aligned} \right\} \quad (14.1)$$

$$I_x(\mu+1, \nu) = I_x(\mu, \nu) - \frac{1}{\mu} U_x(\mu, \nu) \quad (14.2)$$

$$I_x(\mu, \nu+1) = I_x(\mu, \nu) + \frac{1}{\nu} U_x(\mu, \nu) \quad (14.3)$$

$$U_x(\mu, \nu) = \frac{1}{B(\mu, \nu)} x^\mu (1-x)^\nu \quad (15.1)$$

$$U_x(\mu+1, \nu) = U_x(\mu, \nu) \frac{\mu + \nu}{\mu} x \quad (15.2)$$

$$U_x(\mu, \nu+1) = U_x(\mu, \nu) \frac{\mu + \nu}{\nu} (1-x) \quad (15.3)$$

$$B(\mu, \nu) = \frac{\Gamma(\mu)\Gamma(\nu)}{\Gamma(\mu+\nu)} \quad (\mu > 0, \nu > 0) \quad (16)$$

## 6. $\Gamma$ 関数の数値計算

(16)式を利用して、 $\beta$ 分布の数値計算を行うためには、 $\Gamma$ 関数の数値計算式が必要である。これに使用する計算式は、 $x$ の範囲により(17)式と(20)式の2種類に分類される。

### 1) $1.5 \leq x \leq 2.5$ の場合

$x$ がこの範囲の場合は、(17)式の $\Gamma$ 関数の最良近似式を使用する。

ただし、これは実質的な $x$ の範囲で、(17)式の $\Gamma(2+x)$ から明らかのように、理論的な $x$ の範囲は $-0.5 \leq x \leq 0.5$ である。

### 2) $x < 1.5$ または $2.5 < x \leq 5.0$ の場合

$x$ の範囲が $x < 1.5$ の場合は、 $\Gamma$ 関数の部分積分から導かれた(18)式の漸化式を用いて、 $x$ を1)の範囲に誘導後、(17)式を使用する。

$x$ の範囲が $2.5 < x \leq 5.0$ の場合は、(19)式の漸化式を用いて、 $x$ を1)の範囲に誘導後、(17)式を用する。

### 3) $x > 5$ の場合

$x$ がこの範囲の場合は、(20)式の $\Gamma$ 関数の漸近展開式を使用する。

$$\Gamma(2+x) \doteq \sum_{i=0}^8 a_i x^i \quad (-0.5 \leq x \leq 0.5) \quad (17)$$

$$\text{ここに, } a_0 = 0.999999 \quad a_5 = -0.000125138$$

$$a_1 = 0.422785 \quad a_6 = 0.0122996$$

$$a_2 = 0.411850 \quad a_7 = -0.00349613$$

$$a_3 = 0.0815652 \quad a_8 = 0.00213858$$

$$a_4 = 0.0740649$$

$$\Gamma(x) = \frac{\Gamma(x+1)}{x} \quad (18)$$

$$\Gamma(x) = (x-1)\Gamma(x-1) \quad (19)$$

$$\begin{aligned} \Gamma(x) \sim \sqrt{2\pi} e^{-x} x^{x-\frac{1}{2}} \left\{ 1 + \frac{1}{12x} + \frac{1}{288x^2} - \frac{139}{51840x^3} \right. \\ \left. - \frac{571}{2488320x^4} + \frac{163879}{209018880x^5} + \frac{5246819}{75246796800x^6} \right. \\ \left. - \frac{534703531}{902961561600x^7} + \dots \right\} \quad (x \rightarrow \infty) \quad (20) \end{aligned}$$

## 7. F分布関数の上側確率 $\alpha$ の数値計算

F分布関数の上側確率  $\alpha$  の数値計算法は、最初に8個の初期値(21.1)式～(24.2)式を、自由度  $\phi_1$  と自由度  $\phi_2$  の奇数・偶数の組み合わせに応じて算出する。

つぎに、 $\beta$ 分布の漸化式(14.2)式と(14.3)式、および(15.2)式と(15.3)式を利用して、(4)式の下側確率  $P(F; \phi_1, \phi_2)$  を計算し、最後に(5)式の関係から上側確率  $\alpha$  を算出する。

1) 自由度  $(\phi_1, \phi_2) = (\text{奇数}, \text{奇数})$  の場合

この場合の  $I_x$  の初期値は(21.1)式、 $U_x$  の初期値は(21.2)式を使う。

2) 自由度  $(\phi_1, \phi_2) = (\text{奇数}, \text{偶数})$  の場合

この場合の  $I_x$  の初期値は(22.1)式、 $U_x$  の初期値は(22.2)式を使う。

3) 自由度  $(\phi_1, \phi_2) = (\text{偶数}, \text{奇数})$  の場合

この場合の  $I_x$  の初期値は(23.1)式、 $U_x$  の初期値は(23.2)式を使う。

4) 自由度  $(\phi_1, \phi_2) = (\text{偶数}, \text{偶数})$  の場合

この場合の  $I_x$  の初期値は(24.1)式、 $U_x$  の初期値は(24.2)式を使う。

ただし、ここで示した初期値の  $x$  は、(12)式を使ってF分布の初期値に変換して使用しなければならない。

また、 $U_x$  とF分布の確率密度関数との関係は、(25)式で与えられる。

$$I_x\left(\frac{1}{2}, \frac{1}{2}\right) = 1 - \frac{2}{\pi} \tan^{-1} \sqrt{\frac{1-x}{x}} \quad (21.1)$$

$$U_x\left(\frac{1}{2}, \frac{1}{2}\right) = \frac{1}{\pi} \sqrt{x(1-x)} \quad (21.2)$$

$$I_x\left(\frac{1}{2}, 1\right) = \sqrt{x} \quad (22.1)$$

$$U_x\left(\frac{1}{2}, 1\right) = \frac{1}{2} \sqrt{x(1-x)} \quad (22.2)$$

$$I_x\left(1, \frac{1}{2}\right) = 1 - \sqrt{1-x} \quad (23.1)$$

$$U_x\left(1, \frac{1}{2}\right) = \frac{1}{2} x \sqrt{1-x} \quad (23.2)$$

$$I_x(1, 1) = x \quad (24.1)$$

$$U_x(1, 1) = x(1-x) \quad (24.2)$$

$$U_x\left(\frac{\phi_1}{2}, \frac{\phi_2}{2}\right) = f(F; \phi_1, \phi_2) F \quad (25)$$

8.  $F$ 分布の%点の $F$ 値の数値計算

$F$ 分布の%点の $F$ 値の数値計算法として、(5)式を逆に解き $F_\alpha$ を $\alpha$ の関数として、導くことはできない。

この数値計算で使用する、Newton法の第1近似値は、条件が(26)式の場合には、(27)式のPaulsonの近似式から求め、条件が(29)式の場合には、(30)式から算出する。

(26)式の条件が必要な理由は、(28)式の範囲内では(26)式は使用できないから、これを避けるためである。

Newton法の公式およびその収束条件を、(31)式および(32)式に示す。最初の $x_1$ は(27)式または(30)式から算出された、自由度 $\phi_1$ と自由度 $\phi_2$ 、および上側確率 $\alpha$ に対する、 $F$ 値の第1近似値である。

$F(x_1)$ は $x_1$ から算出された下側確率、 $P$ は与えられた上側確率から算出された下側確率、 $f(x_1)$ は $x_1$ に対する確率密度で(25)式から求められる。

$x_1$ と $x_2$ との関係が(32)式の収束条件を満足しないときは、 $x_2$ を新たな $x_1$ として置きかえ、収束条件を満足するまでNewton法の計算を繰り返して精度を高め、 $F$ 値を算出する。

$$(1-b)^2 - bu_\alpha^2 > 0.8 \quad (26)$$

$$\tilde{F}_\alpha = \left\{ \frac{(1-a)(1-b) + u_\alpha \sqrt{(1-a)^2 b + (1-b)^2 a - abu_\alpha^2}}{(1-b)^2 - bu_\alpha^2} \right\}^3 \quad (27)$$

ここに、 $a = \frac{2}{9\phi_1}$ ,  $b = \frac{2}{9\phi_2}$ ,  $u_\alpha$ ;  $N(0, 1)$ の100 $\alpha$ %点

$$u_\alpha \geq \sqrt{\frac{(1-b)^2}{b}} = \sqrt{\frac{9\phi_2}{2} - 2 + \frac{2}{9\phi_2}} \quad (28)$$

$$(1-b)^2 - bu_\alpha^2 \leq 0.8 \quad (29)$$

$$\hat{F}_\alpha = \left\{ \frac{1}{B\left(\frac{\phi_1}{2}, \frac{\phi_2}{2}\right)} \frac{2\phi_2^{\frac{\phi_2}{2}-1}}{\phi_1^{\frac{\phi_2}{2}}} \frac{1}{\alpha} \right\}^{\frac{2}{\phi_2}} \quad (30)$$

$$x_{i+1} = x_i - \frac{F(x_i) - P}{f(x_i)} \quad (i=0, 1, 2, \dots) \quad (31)$$

$$\left| \frac{x_i - x_{i+1}}{x_{i+1}} \right| < 10^{-6} \quad (32)$$

F分布の BASIC による数値計算

表1 F分布の数値計算の副プログラム

```

100 REM ; 主プログラム
110 CLBAR : CLS : DEFINT I-N : DEFNSNG A-H : DEBSNG O-Z
120 API=3.14159
130 REM ; 自由度 , 自由度 , F 値 から上側確率 α を算出
140 PDP1=10! : PDP2=5! : FF=10.1 : GOSUB *FDIST : FFP=11-FF
150 PRINT USING " F - α =##.###" ; FFP
160 REM ; 自由度 , 自由度 , 上側確率 α から F 値 を算出
170 PDP1=10! : PDP2=5! : FQ=.01 : GOSUB *PPDIST
180 PRINT USING " F 値 =##.###" ; FFP
190 END
2000 REM ; 副プログラム
2010 REM ; F 分布の下側確率
2020 *FDIST
2030 N1F=FIX(PDP1) : N2F=FIX(PDP2) : FX=PDP1*FF/(PDP2+PDP1*FF)
2040 IF FX<0 THEN FX=ABS(FX)
2050 IF N1F MOD 2 = 0 THEN 2100
2060 IF N2F MOD 2 = 0 THEN 2090
2070 FP=11-2!*ATN(SQR((11-FX)/FX))/API : FU=SQR(FX*(11-FX))/API
2080 IAIF=1 : IBIF=1 : GOTO 2130
2090 FP=SQR(FX) : FU=SQR(FX)*(11-FX)/2! : IAIF=1 : IBIF=2 : GOTO 2130
2100 IF N2F MOD 2 = 0 THEN 2120
2110 FP=11-SQR(11-FX) : FU=FX*SQR(11-FX)/2! : IAIF=2 : IBIF=1 : GOTO 2130
2120 FP=FX : FU=FX*(11-FX) : IAIF=2 : IBIF=2
2130 IF IAIF=N1F THEN 2180
2140 PH2=CSNG(IBIF)
2150 FOR ILA=IAIF TO N1F-2 STEP 2
2160 PH1=CSNG(ILA) : PP=PP-2!*FU/PH1 : FU=FU*(PH1+PH2)/PH1*FX
2170 NEXT ILA
2180 IF IBIF=N2F THEN 2230
2190 PH1=PDP1
2200 FOR ILB=IBIF TO N2F-2 STEP 2
2210 PH2=CSNG(ILB) : PP=PP+2!*FU/PH2 : FU=FU*(PH1+PH2)/PH2*(11-FX)
2220 NEXT ILB
2230 FD=FU/FF
2240 RETURN
2250 REM ; F 分布の % 点
2260 *PPDIST
2270 DF12=PDP1/2! : DF22=PDP2/2! : FA=2!/(9!*PDP1) : FA1=11-FA
2280 FB=2!/(9!*PDP2) : FB1=11-FB : AP=11-FQ : GOSUB *PNORM
2290 FB=FB1*FB1-FB*AYQ*AYQ
2300 IF FB<=.8 THEN 2370
2310 FFO=((FA1*FB1+AYQ*SQR(FA1*FA1*FB+FA*FB))/FB) ^ 3
2320 KF=1
2330 FF=FFO : GOSUB *FDIST : FFF=FFO-(FP-AP)/FD : FFF=ABS(FFF)
2340 IF ABS(FFO-FFF) < .000001*FFF THEN 2410
2350 KF=KF+1 : IF KF>=30 THEN 2410
2360 FFO=FFF : GOTO 2330
2370 GX=DF12+DF22 : GOSUB *GAMMA : GF1=GA : GX=DF12 : GOSUB *GAMMA
2380 GP2=GA : GX=DF22 : GOSUB *GAMMA : GP3=GA
2390 FFO=(GF1/GP2/GP3*2!*PDP2 ^ (DF22-1!)/PDP1 ^ DF22/FQ) ^ (2!/PDP2)
2400 GOTO 2320
2410 RETURN
2420 REM ; γ 関数
2430 *GAMMA
2440 B1=.999999 : B2=.422785 : B3=.41185 : B4=8.15652E-02
2450 B5=7.40649E-02 : B6=-1.25138E-04 : B7=1.22996E-02
2460 B8=-3.49613E-03 : B9=2.13858E-03
2470 C1=8.33333E-02 : C2=3.47222E-03 : C3=-2.68133E-03 : C4=-2.29472E-04
2480 C5=7.84039E-04 : C6=6.97281E-05 : C7=-5.92166E-04
2490 GW=GX : TG=1!
2500 IF GX>5! THEN 2600
2510 IF GX<1.5 THEN 2530
2520 IF GX>2.5 THEN 2550
2530 TG=TG/GW : GW=GW+1!
2540 IF GW>=1.5 THEN 2570 ELSE 2530
2550 GW=GW-1! : TG=TG*GW
2560 IF GW<=2.5 THEN 2570 ELSE 2550
2570 U=GW-2!
2580 GG=(((((((B9*U+B8)*U+B7)*U+B6)*U+B5)*U+B4)*U+B3)*U+B2)*U+B1
2590 GA=GG*TG : GOTO 2630
2600 V=1!/GX
2610 SS=(((((((C7*V+C6)*V+C5)*V+C4)*V+C3)*V+C2)*V+C1)*V+1!
2620 GA=2.50663*EXP(-GX)*GX ^ (GX-.5)*SS
2630 RETURN

```

## 9. $F$ 分布の BASIC プログラムの説明

$F$ 分布の上側確率  $\alpha$ , および  $F$  値の数値計算を単精度で行うための、副プログラムを表1に示す。

$F$  値の数値計算には、正規分布の下側確率  $\phi(u)$  を算出するための副プログラム NORM, および正規分布の  $u$  値を算出するための副プログラム PNORM が使用される。

さらに、 $F$  分布表の作成には、 $\chi^2$  分布の下側確率  $F(\chi^2; \phi)$  を算出するための副プログラム CHI2, および  $\chi^2$  値を算出するための副プログラム PCHI2 も使用される。

以上の正規分布および  $\chi^2$  分布の数値計算用の副プログラムは、文番号2640以降に続くが、これらは既報<sup>(3)</sup>で説明したから、表1では記載を省略した。

表1の主プログラムの文番号100~190は、目的に応じて任意に設定できるが、ここでは簡単な形式を例として示した。

また、表1の BASIC プログラムの1行の長さは、255桁まで記載することができるが、ここでは印刷の都合上短縮して作成した。

### 1) 副プログラム FDIST

副プログラム FDIST は  $F$  分布の自由度  $\phi_1$  と自由度  $\phi_2$ , および  $F$  値に対する(4)式の下側確率  $P(F; \phi_1, \phi_2)$  を算出する。上側確率  $\alpha$  への変換は、主プログラムで行う。

この数値計算には、自由度  $\phi_1$  と自由度  $\phi_2$  の組み合わせに対応して、(21.1)式~(24.2)式の初期値を選択し、つぎに  $\beta$  分布の漸化式 (14.2) 式と (14.3) 式, および (15.2) 式と (15.3) 式を利用して、(4)式の下側確率  $P(F; \phi_1, \phi_2)$  を算出する。

ただし、 $F$  分布に  $\beta$  分布の漸化式を適用する際には、(12)式の変換が必要である。

自由度  $\phi_1 = 1 \sim 2$  および自由度  $\phi_2 = 1 \sim 2$  の組み合わせの場合は、漸化式の計算は不要であるから、 $I_x$  および  $U_x$  の初期値を (21.1) 式~(24.2) 式を使用して計算後、直ちに文番号2230に分岐し(25)式の確率密度を計算する。

2030: 入力した実数型の自由度  $\phi_1 (=FDF1)$  および自由度  $\phi_2 (=FDF2)$  を、各々整数型の自由度 N1F および自由度 N2F に変換し、(12)式の  $x$  に対応する FX を計算する。

2040: (6)式を利用して、自由度  $\phi_1 = 120$ , 自由度  $\phi_2 = 1$  に対する、4種類の上側確率  $\alpha = 0.025, 0.010, 0.005, 0.001$  の  $F$  値を算出する(副プログラム PFDIST を使用)場合には、FX が負となるから絶対値をとり、これを正とする。

2050: 自由度 N1F が偶数の場合は2100に分岐し、奇数の場合はつぎに移る。

2060: 自由度 N2F が偶数の場合は2090に分岐し、奇数の場合はつぎに移る。

2070：自由度 N1F と N2F が共に奇数の場合で、初期値を (21. 1) 式と (21. 2) 式で計算する。

2080：自由度 N1F と N2F が共に奇数の場合の基準値を、各々 1 と設定し、2130に分岐する。

2090：自由度 N1F が奇数、自由度 N2F が偶数の場合で、初期値を (22. 1) 式と (22. 2) 式で計算する。つぎに自由度が奇数と偶数の場合の基準値、1 および 2 を設定し、2130に分岐する。

2100：自由度 N1F が偶数の場合に、自由度 N2F が奇数か偶数かの判定を行う。自由度 N2F が偶数の場合は2120に分岐し、奇数の場合にはつぎに移る。

2110：自由度 N1F が偶数、自由度 N2F が奇数の場合で、初期値を (23. 1) 式と (23. 2) 式で計算する。つぎに自由度が偶数および奇数の場合の基準値、2 および 1 を設定し、2130に分岐する。

2120：自由度 N1F と N2F が共に偶数の場合で、初期値を (24. 1) 式と (24. 2) 式で計算する。つぎに自由度が共に偶数の場合の基準値を、各々 2 と設定しつぎに移る。

2130：自由度 N1F が、基準値の 1 または 2 に等しい場合は、2180に分岐する。

2140：自由度 N1F が 3 以上の場合は、最初に自由度  $\mu(=\frac{\phi_1}{2})$  に関して、漸化式(14.

2) 式および (15. 2) 式の計算を行うために、自由度  $\nu(=\frac{\phi_2}{2})$  を PH2 として固定する。

2150～2170：必要な自由度  $\mu$  まで、 $I_x$  および  $U_x$  を計算する。

2150： $I_x$  および  $U_x$  の漸化式を計算する際の、反復数を (N1F－2) 回と設定する。

2160：(14. 2) 式および (15. 2) 式の漸化式を使用して、 $I_x(\mu+1, \nu)$  および  $U_x(\mu+1, \nu)$  を計算する。

2180：自由度 N2F が、基準値の 1 または 2 に等しい場合は、2230に分岐する。

2190：自由度 N2F が 3 以上の場合は、自由度  $\nu(=\frac{\phi_2}{2})$  に関して、漸化式 (14. 3) 式

および (15. 3) 式の計算を行うために、すでに計算した自由度  $\mu(=\frac{\phi_1}{2})$  を PH1 として固定する。

2200～2220：必要な自由度  $\nu$  まで、 $I_x$  および  $U_x$  を計算する。

2200： $I_x$  および  $U_x$  の漸化式を計算する際の、反復数を (N2F－2) 回と設定する。

2210：(14. 3) 式および (15. 3) 式の漸化式を使用して、 $I_x(\mu, \nu+1)$  および  $U_x(\mu, \nu$

+1)を計算する。

2230：(25)式を使用して、(2)式の確率密度  $f(F; \phi_1, \phi_2)$  を算出する。

140：この主プログラムで(5)式に従い、下側確率 FP を上側確率 FFP に変換する。

## 2) 副プログラム PFDIST

副プログラム PFDIST は  $F$  分布の自由度  $\phi_1$  と自由度  $\phi_2$ 、および下側確率  $P(F; \phi_1, \phi_2)$  に対する%点の  $F$  値を算出する。

2270～2280：Newton 法の第1近似値の計算式を選択する条件となる(26)式と、(27)式の計算に必要な  $b$  と  $u_a$ 、および  $a$  を計算する。

2290：(26)式を計算し、これを FE とする。

2300：FE  $\leq 0.8$  が成立する場合は、2370に分岐して(30)式を計算し、成立しない場合にはつぎに移る。

2310：(27)式に対応する計算を行い、これを Newton 法の第1近似値 FFO とする。

2320：Newton 法の反復数の初期値を設定する。

2330～2360：Newton 法を繰り返す。

2330：(31)式を計算する。(31)式の  $x_{i+1}$  に対応する FFF が負となる場合は、絶対値をとりこれを正とする。FFF が負となるのは、つぎに示す場合のみである。

- ① 自由度  $\phi_1=1$ 、自由度  $\phi_2=12$ 、上側確率  $\alpha=0.001$  に対する  $F$  値の算出。
- ② (6)式を利用して、自由度  $\phi_1=120$ 、自由度  $\phi_2=1$  に対する、2種類の上側確率  $\alpha=0.025$ 、 $0.005$  の  $F$  値の算出。

2340：収束値を  $10^{-6}$  と設定し、(31)式の Newton 法の公式に従い、(32)式の収束判定を行う。収束した場合は計算を終了させる。

2350：収束しない場合は反復数を加算し、反復数が設定した30回を超えた場合には、計算を終了させる。

2360：収束しない場合は使用した FFF を FFO に移し、新たに FFF を設定し、収束するまで Newton 法を繰り返す。

2370～2380：FE  $\leq 0.8$  が成立する場合である。この場合は、第1近似値の算出に使用される(30)式に含まれる  $\beta$  関数の計算は、(16)式の  $\beta$  関数と  $\Gamma$  関数との関係を利用して行う。 $\Gamma$  関数の数値計算は  $\Gamma(\frac{\phi_1}{2})$  と  $\Gamma(\frac{\phi_2}{2})$ 、および  $\Gamma(\frac{\phi_1+\phi_2}{2})$  を副プログラム GAMMA を使用して行う。

2390：(30)式に対応する計算を行い、これを Newton 法の第1近似値 FFO とする。

2400：2320に戻り(30)式で算出した第1近似値 FFO を使用して、Newton 法を繰り返す。

F分布の BASIC による数値計算

表2 F分布表 (その1)

$\alpha=0.050$

$\phi_1$	$\phi_2$	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	15	20	24	30	40	60	120	$\infty$
1	1	161	199	216	225	230	234	237	239	241	242	244	246	248	249	250	251	252	253	254
2	1	18.5	19.0	19.2	19.2	19.3	19.3	19.4	19.4	19.4	19.4	19.4	19.4	19.4	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5
3	1	10.1	9.55	9.28	9.12	9.01	8.94	8.89	8.85	8.81	8.79	8.74	8.70	8.66	8.64	8.62	8.59	8.57	8.55	8.53
4	1	7.71	6.94	6.59	6.39	6.26	6.16	6.09	6.04	6.00	5.96	5.91	5.86	5.80	5.77	5.75	5.72	5.69	5.66	5.63
5	1	6.61	5.79	5.41	5.19	5.05	4.95	4.88	4.82	4.77	4.74	4.68	4.62	4.56	4.53	4.50	4.46	4.43	4.40	4.36
6	1	5.99	5.14	4.76	4.53	4.39	4.28	4.21	4.15	4.10	4.06	4.00	3.94	3.87	3.84	3.81	3.77	3.74	3.70	3.67
7	1	5.59	4.74	4.35	4.12	3.97	3.87	3.79	3.73	3.68	3.64	3.57	3.51	3.44	3.41	3.38	3.34	3.30	3.27	3.23
8	1	5.32	4.46	4.07	3.84	3.69	3.58	3.50	3.44	3.39	3.35	3.28	3.22	3.15	3.12	3.08	3.04	3.01	2.97	2.93
9	1	5.12	4.26	3.86	3.63	3.48	3.37	3.29	3.23	3.18	3.14	3.07	3.01	2.94	2.90	2.86	2.83	2.79	2.75	2.71
10	1	4.96	4.10	3.71	3.48	3.33	3.22	3.14	3.07	3.02	2.98	2.91	2.85	2.77	2.74	2.70	2.66	2.62	2.58	2.54
11	1	4.84	3.98	3.59	3.36	3.20	3.09	3.01	2.95	2.90	2.85	2.79	2.72	2.65	2.62	2.58	2.53	2.49	2.45	2.40
12	1	4.75	3.89	3.49	3.26	3.11	3.00	2.91	2.85	2.80	2.75	2.69	2.62	2.54	2.51	2.47	2.43	2.38	2.34	2.30
13	1	4.67	3.81	3.41	3.18	3.03	2.92	2.83	2.77	2.71	2.67	2.60	2.53	2.46	2.42	2.38	2.34	2.30	2.25	2.21
14	1	4.60	3.74	3.34	3.11	2.96	2.85	2.76	2.70	2.65	2.60	2.53	2.46	2.39	2.35	2.31	2.27	2.22	2.18	2.13
15	1	4.54	3.68	3.29	3.06	2.90	2.79	2.71	2.64	2.59	2.54	2.48	2.40	2.33	2.29	2.25	2.20	2.16	2.11	2.07
16	1	4.49	3.63	3.24	3.01	2.85	2.74	2.66	2.59	2.54	2.49	2.42	2.35	2.28	2.24	2.19	2.15	2.11	2.06	2.01
17	1	4.45	3.59	3.20	2.96	2.81	2.70	2.61	2.55	2.49	2.45	2.38	2.31	2.23	2.19	2.15	2.10	2.06	2.01	1.96
18	1	4.41	3.55	3.16	2.93	2.77	2.66	2.58	2.51	2.46	2.41	2.34	2.27	2.19	2.15	2.11	2.06	2.02	1.97	1.92
19	1	4.38	3.52	3.13	2.90	2.74	2.63	2.54	2.48	2.42	2.38	2.31	2.23	2.16	2.11	2.07	2.03	1.98	1.93	1.88
20	1	4.35	3.49	3.10	2.87	2.71	2.60	2.51	2.45	2.39	2.35	2.28	2.20	2.12	2.08	2.04	1.99	1.95	1.90	1.84
21	1	4.32	3.47	3.07	2.84	2.68	2.57	2.49	2.42	2.37	2.32	2.25	2.18	2.10	2.05	2.01	1.96	1.92	1.87	1.81
22	1	4.30	3.44	3.05	2.82	2.66	2.55	2.46	2.40	2.34	2.30	2.23	2.15	2.07	2.03	1.98	1.94	1.89	1.84	1.78
23	1	4.28	3.42	3.03	2.80	2.64	2.53	2.44	2.37	2.32	2.27	2.20	2.13	2.05	2.01	1.96	1.91	1.86	1.81	1.76
24	1	4.26	3.40	3.01	2.78	2.62	2.51	2.42	2.36	2.30	2.25	2.18	2.11	2.03	1.98	1.94	1.89	1.84	1.79	1.73
25	1	4.24	3.39	2.99	2.76	2.60	2.49	2.40	2.34	2.28	2.24	2.16	2.09	2.01	1.96	1.92	1.87	1.82	1.77	1.71
26	1	4.23	3.37	2.98	2.74	2.59	2.47	2.39	2.32	2.27	2.22	2.15	2.07	1.99	1.95	1.90	1.85	1.80	1.75	1.69
27	1	4.21	3.35	2.96	2.73	2.57	2.46	2.37	2.31	2.25	2.20	2.13	2.06	1.97	1.93	1.88	1.84	1.79	1.73	1.67
28	1	4.20	3.34	2.95	2.71	2.56	2.45	2.36	2.29	2.24	2.19	2.12	2.04	1.96	1.91	1.87	1.82	1.77	1.71	1.65
29	1	4.18	3.33	2.93	2.70	2.55	2.43	2.35	2.28	2.22	2.18	2.10	2.03	1.94	1.90	1.85	1.81	1.75	1.70	1.64
30	1	4.17	3.32	2.92	2.69	2.53	2.42	2.33	2.27	2.21	2.16	2.09	2.01	1.93	1.89	1.84	1.79	1.74	1.68	1.62
40	1	4.08	3.23	2.84	2.61	2.45	2.34	2.25	2.18	2.12	2.08	2.00	1.92	1.84	1.79	1.74	1.69	1.64	1.58	1.51
60	1	4.00	3.15	2.76	2.53	2.37	2.25	2.17	2.10	2.04	1.99	1.92	1.84	1.75	1.70	1.65	1.59	1.53	1.47	1.39
120	1	3.92	3.07	2.68	2.45	2.29	2.18	2.09	2.02	1.96	1.91	1.83	1.75	1.66	1.61	1.55	1.50	1.43	1.35	1.25
$\infty$	1	3.84	3.00	2.60	2.37	2.21	2.10	2.01	1.94	1.88	1.83	1.75	1.67	1.57	1.52	1.46	1.39	1.32	1.22	1.00

表3 F分布表 (その2)

$\alpha=0.025$

$\phi_1$	$\phi_2$	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	15	20	24	30	40	60	120	$\infty$
1	1	648	799	864	900	922	937	948	957	963	969	977	985	993	997	1001	1005	1010	1014	1018
2	1	38.5	39.0	39.2	39.2	39.3	39.3	39.4	39.4	39.4	39.4	39.4	39.4	39.4	39.4	39.5	39.5	39.5	39.5	39.5
3	1	17.4	16.0	15.4	15.1	14.9	14.7	14.6	14.5	14.5	14.4	14.3	14.3	14.2	14.1	14.1	14.0	14.0	13.9	13.9
4	1	12.2	10.6	10.0	9.60	9.36	9.20	9.07	8.98	8.90	8.84	8.75	8.66	8.56	8.51	8.46	8.41	8.36	8.31	8.26
5	1	10.0	8.43	7.76	7.39	7.15	6.98	6.85	6.76	6.68	6.62	6.52	6.43	6.33	6.28	6.23	6.18	6.12	6.07	6.02
6	1	8.81	7.26	6.60	6.23	5.99	5.82	5.70	5.60	5.52	5.46	5.37	5.27	5.17	5.12	5.07	5.01	4.96	4.90	4.85
7	1	8.07	6.54	5.89	5.52	5.29	5.12	4.99	4.90	4.82	4.76	4.67	4.57	4.47	4.42	4.36	4.31	4.25	4.20	4.14
8	1	7.57	6.06	5.42	5.05	4.82	4.65	4.53	4.43	4.36	4.30	4.20	4.10	4.00	3.95	3.89	3.84	3.78	3.73	3.67
9	1	7.21	5.71	5.08	4.72	4.48	4.32	4.20	4.10	4.03	3.96	3.87	3.77	3.67	3.61	3.56	3.51	3.45	3.39	3.33
10	1	6.94	5.46	4.83	4.47	4.24	4.07	3.95	3.85	3.78	3.72	3.62	3.52	3.42	3.37	3.31	3.26	3.20	3.14	3.08
11	1	6.72	5.26	4.63	4.28	4.04	3.88	3.76	3.66	3.59	3.53	3.43	3.33	3.23	3.17	3.12	3.06	3.00	2.94	2.88
12	1	6.55	5.10	4.47	4.12	3.89	3.73	3.61	3.51	3.44	3.37	3.28	3.18	3.07	3.02	2.96	2.91	2.85	2.79	2.72
13	1	6.41	4.97	4.35	4.00	3.77	3.60	3.48	3.39	3.31	3.25	3.15	3.05	2.95	2.89	2.84	2.78	2.72	2.66	2.60
14	1	6.30	4.86	4.24	3.89	3.66	3.50	3.38	3.29	3.21	3.15	3.05	2.95	2.84	2.79	2.73	2.67	2.61	2.55	2.49
15	1	6.20	4.77	4.15	3.80	3.58	3.41	3.29	3.20	3.12	3.06	2.96	2.86	2.76	2.70	2.64	2.59	2.52	2.46	2.40
16	1	6.12	4.69	4.08	3.73	3.50	3.34	3.22	3.12	3.05	2.99	2.89	2.79	2.68	2.63	2.57	2.51	2.45	2.38	2.32
17	1	6.04	4.62	4.01	3.66	3.44	3.28	3.16	3.06	2.98	2.92	2.82	2.72	2.62	2.56	2.50	2.44	2.38	2.32	2.25
18	1	5.98	4.56	3.95	3.61	3.38	3.22	3.10	3.01	2.93	2.87	2.77	2.67	2.56	2.50	2.44	2.38	2.32	2.26	2.19
19	1	5.92	4.51	3.90	3.56	3.33	3.17	3.05	2.96	2.88	2.82	2.72	2.62	2.51	2.45	2.39	2.33	2.27	2.20	2.13
20	1	5.87	4.46	3.86	3.51	3.29	3.13	3.01	2.91	2.84	2.77	2.68	2.57	2.46	2.41	2.35	2.29	2.22	2.16	2.09
21	1	5.83	4.42	3.82	3.48	3.25	3.09	2.97	2.87	2.80	2.73	2.64	2.53	2.42	2.37	2.31	2.25	2.18	2.11	2.04
22	1	5.79	4.38	3.78	3.44	3.22	3.05	2.93	2.84	2.76	2.70	2.60	2.50	2.39	2.33	2.27	2.21	2.14	2.08	2.00
23	1	5.75	4.35	3.75	3.41	3.18	3.02	2.90	2.81	2.73	2.67	2.57	2.47	2.36	2.30	2.24	2.18	2.11	2.04	1.97
24	1	5.72	4.32	3.72	3.38	3.15	2.99	2.87	2.78	2.70	2.64	2.54	2.44	2.33	2.27	2.21	2.15	2.08	2.01	1.94
25	1	5.69	4.29	3.69	3.35	3.13	2.97	2.85	2.75	2.68	2.61	2.51	2.41	2.30	2.24	2.18	2.12	2.05	1.98	1.91
26	1	5.66	4.27	3.67	3.33	3.10	2.94	2.82	2.73	2.65	2.59	2.49	2.39	2.28	2.22	2.16	2.09	2.03	1.95	1.88
27	1	5.63	4.24	3.65	3.31	3.08	2.92	2.80	2.71	2.63	2.57	2.47	2.36	2.25	2.19	2.13	2.07	2.00	1.93	1.85
28	1	5.61	4.22	3.63	3.29	3.06	2.90	2.78	2.69	2.61	2.55	2.45	2.34	2.23	2.17	2.11	2.05	1.98	1.91	1.83
29	1																			

表4 F分布表 (その3)

$\alpha=0.010$

$\phi_1 \backslash \phi_2$	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	15	20	24	30	40	60	120	$\infty$
1	4052	5000	5405	5628	5762	5862	5927	5980	6019	6053	6114	6161	6196	6255	6294	6301	6313	6339	6364
2	98.5	99.0	99.2	99.2	99.3	99.3	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5
3	34.1	30.8	29.5	28.7	28.2	27.9	27.7	27.5	27.3	27.2	27.1	26.9	26.7	26.6	26.5	26.4	26.3	26.2	26.1
4	21.2	18.0	16.7	16.0	15.5	15.2	15.0	14.8	14.7	14.5	14.4	14.2	14.0	13.9	13.8	13.7	13.7	13.6	13.5
5	16.3	13.3	12.1	11.4	11.0	10.7	10.5	10.3	10.2	10.1	9.89	9.72	9.55	9.47	9.38	9.29	9.20	9.11	9.02
6	13.7	10.9	9.78	9.15	8.75	8.47	8.26	8.10	7.98	7.87	7.72	7.56	7.40	7.31	7.23	7.14	7.06	6.97	6.88
7	12.2	9.55	8.45	7.85	7.46	7.19	6.99	6.84	6.72	6.62	6.47	6.31	6.16	6.07	5.99	5.91	5.82	5.74	5.65
8	11.3	8.65	7.59	7.01	6.63	6.37	6.18	6.03	5.91	5.81	5.67	5.52	5.36	5.28	5.20	5.12	5.03	4.95	4.86
9	10.6	8.02	6.99	6.42	6.06	5.80	5.61	5.47	5.35	5.26	5.11	4.96	4.81	4.73	4.65	4.57	4.48	4.40	4.31
10	10.0	7.56	6.55	5.99	5.64	5.39	5.20	5.06	4.94	4.85	4.71	4.56	4.41	4.33	4.25	4.17	4.08	4.00	3.91
11	9.65	7.21	6.22	5.67	5.32	5.07	4.89	4.74	4.63	4.54	4.40	4.25	4.10	4.02	3.94	3.86	3.78	3.69	3.60
12	9.33	6.93	5.95	5.41	5.06	4.82	4.64	4.50	4.39	4.30	4.16	4.01	3.86	3.78	3.70	3.62	3.54	3.45	3.36
13	9.07	6.70	5.74	5.21	4.86	4.62	4.44	4.30	4.19	4.10	3.96	3.82	3.66	3.59	3.51	3.43	3.34	3.25	3.17
14	8.86	6.51	5.56	5.04	4.69	4.46	4.28	4.14	4.03	3.94	3.80	3.66	3.51	3.43	3.35	3.27	3.18	3.09	3.00
15	8.68	6.36	5.42	4.89	4.56	4.32	4.14	4.00	3.89	3.80	3.67	3.52	3.37	3.29	3.21	3.13	3.05	2.96	2.87
16	8.53	6.23	5.29	4.77	4.44	4.20	4.03	3.89	3.78	3.69	3.55	3.41	3.26	3.18	3.10	3.02	2.93	2.84	2.75
17	8.40	6.11	5.18	4.67	4.34	4.10	3.93	3.79	3.68	3.59	3.46	3.31	3.16	3.08	3.00	2.92	2.83	2.75	2.65
18	8.29	6.01	5.09	4.58	4.25	4.01	3.84	3.71	3.60	3.51	3.37	3.23	3.08	3.00	2.92	2.84	2.75	2.66	2.57
19	8.18	5.93	5.01	4.50	4.17	3.94	3.77	3.63	3.52	3.43	3.30	3.15	3.00	2.92	2.84	2.76	2.67	2.58	2.49
20	8.10	5.85	4.94	4.43	4.10	3.87	3.70	3.56	3.46	3.37	3.23	3.09	2.94	2.86	2.78	2.69	2.61	2.52	2.42
21	8.02	5.78	4.87	4.37	4.04	3.81	3.64	3.51	3.40	3.31	3.17	3.03	2.88	2.80	2.72	2.64	2.55	2.46	2.36
22	7.95	5.72	4.82	4.31	3.99	3.76	3.59	3.45	3.35	3.26	3.12	2.98	2.83	2.75	2.67	2.58	2.50	2.40	2.31
23	7.88	5.66	4.76	4.26	3.94	3.71	3.54	3.41	3.30	3.21	3.07	2.93	2.78	2.70	2.62	2.54	2.45	2.35	2.26
24	7.82	5.61	4.72	4.22	3.90	3.67	3.50	3.36	3.26	3.17	3.03	2.89	2.74	2.66	2.58	2.49	2.40	2.31	2.21
25	7.77	5.57	4.68	4.18	3.85	3.63	3.46	3.32	3.22	3.13	2.99	2.85	2.70	2.62	2.54	2.45	2.36	2.27	2.17
26	7.72	5.53	4.64	4.14	3.82	3.59	3.42	3.29	3.18	3.09	2.96	2.81	2.66	2.58	2.50	2.42	2.33	2.23	2.13
27	7.68	5.49	4.60	4.11	3.78	3.56	3.39	3.26	3.15	3.06	2.93	2.78	2.63	2.55	2.47	2.38	2.29	2.20	2.10
28	7.64	5.45	4.57	4.07	3.75	3.53	3.36	3.23	3.12	3.03	2.90	2.75	2.60	2.52	2.44	2.35	2.26	2.17	2.06
29	7.60	5.42	4.54	4.04	3.73	3.50	3.33	3.20	3.09	3.00	2.87	2.73	2.57	2.49	2.41	2.33	2.23	2.14	2.03
30	7.56	5.39	4.51	4.02	3.70	3.47	3.30	3.17	3.07	2.98	2.84	2.70	2.55	2.47	2.39	2.30	2.21	2.11	2.01
40	7.31	5.18	4.31	3.83	3.51	3.29	3.12	2.99	2.89	2.80	2.66	2.52	2.37	2.29	2.20	2.11	2.02	1.92	1.80
60	7.08	4.98	4.13	3.65	3.34	3.12	2.95	2.82	2.72	2.63	2.50	2.35	2.20	2.12	2.03	1.94	1.84	1.73	1.60
120	6.85	4.79	3.95	3.48	3.17	2.96	2.79	2.66	2.56	2.47	2.34	2.19	2.03	1.95	1.86	1.76	1.66	1.53	1.38
$\infty$	6.63	4.61	3.78	3.32	3.02	2.80	2.64	2.51	2.41	2.32	2.18	2.04	1.88	1.79	1.70	1.59	1.47	1.32	1.00

表5 F分布表 (その4)

$\alpha=0.005$

$\phi_1 \backslash \phi_2$	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	15	20	24	30	40	60	120	$\infty$
2	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199	199
3	55.6	49.8	47.5	46.2	45.4	44.8	44.4	44.1	43.9	43.7	43.4	43.1	42.8	42.6	42.5	42.3	42.1	42.0	41.8
4	31.3	26.3	24.3	23.2	22.5	22.0	21.6	21.4	21.1	21.0	20.7	20.4	20.2	20.0	19.9	19.8	19.6	19.5	19.3
5	22.8	18.3	16.5	15.6	14.9	14.5	14.2	14.0	13.8	13.6	13.4	13.1	12.9	12.8	12.7	12.5	12.4	12.3	12.1
6	18.6	14.5	12.9	12.0	11.5	11.1	10.8	10.6	10.4	10.3	10.0	9.81	9.59	9.47	9.36	9.24	9.12	9.00	8.88
7	16.2	12.4	10.9	10.1	9.52	9.16	8.89	8.68	8.51	8.38	8.18	7.97	7.75	7.64	7.53	7.42	7.31	7.19	7.08
8	14.7	11.0	9.60	8.81	8.30	7.95	7.69	7.50	7.34	7.21	7.01	6.81	6.61	6.50	6.40	6.29	6.18	6.06	5.95
9	13.6	10.1	8.72	7.96	7.47	7.13	6.88	6.69	6.54	6.42	6.23	6.03	5.83	5.73	5.62	5.52	5.41	5.30	5.19
10	12.8	9.43	8.08	7.34	6.87	6.54	6.30	6.12	5.97	5.85	5.66	5.47	5.27	5.17	5.07	4.97	4.86	4.75	4.64
11	12.2	8.91	7.60	6.88	6.42	6.10	5.86	5.68	5.54	5.42	5.24	5.05	4.86	4.76	4.65	4.55	4.45	4.34	4.23
12	11.8	8.51	7.23	6.52	6.07	5.76	5.52	5.35	5.20	5.09	4.91	4.72	4.53	4.43	4.33	4.23	4.12	4.01	3.90
13	11.4	8.19	6.93	6.23	5.79	5.48	5.25	5.08	4.94	4.82	4.64	4.46	4.27	4.17	4.07	3.97	3.87	3.76	3.65
14	11.1	7.92	6.68	6.00	5.56	5.26	5.03	4.86	4.72	4.60	4.43	4.25	4.06	3.96	3.86	3.76	3.66	3.55	3.44
15	10.8	7.70	6.48	5.80	5.37	5.07	4.85	4.67	4.54	4.42	4.25	4.07	3.88	3.79	3.69	3.58	3.48	3.37	3.26
16	10.6	7.51	6.30	5.64	5.21	4.91	4.69	4.52	4.38	4.27	4.10	3.92	3.73	3.64	3.54	3.44	3.33	3.22	3.11
17	10.4	7.35	6.16	5.50	5.07	4.78	4.56	4.39	4.25	4.14	3.97	3.79	3.61	3.51	3.41	3.31	3.21	3.10	2.98
18	10.2	7.21	6.03	5.37	4.96	4.66	4.44	4.28	4.14	4.03	3.86	3.68	3.50	3.40	3.30	3.20	3.10	2.99	2.87
19	10.1	7.09	5.92	5.27	4.85	4.56	4.34	4.18	4.04	3.93	3.76	3.59	3.40	3.31	3.21	3.11	3.00	2.89	2.78
20	9.94	6.99	5.82	5.17	4.76	4.47	4.26	4.09	3.96	3.85	3.68	3.50	3.32	3.22	3.12	3.02	2.92	2.81	2.69
21	9.83	6.89	5.73	5.09	4.68	4.39	4.18	4.01	3.88	3.77	3.60	3.43	3.24	3.15	3.05	2.95	2.84	2.73	2.61
22	9.73	6.81	5.65	5.02	4.61	4.32	4.11	3.94	3.81	3.70	3.54	3.36	3.18	3.08	2.98	2.88	2.77	2.66	2.55
23	9.63	6.73	5.58	4.95	4.54	4.26	4.05	3.88	3.75	3.64	3.47	3.30	3.12	3.02	2.92	2.82	2.71	2.60	2.48
24	9.55	6.66	5.52	4.89	4.49	4.20	3.99	3.83	3.69	3.59	3.42	3.25	3.06	2.97	2.87	2.77	2.66	2.55	2.43
25	9.48	6.60	5.46	4.84	4.43	4.15	3.94	3.78	3.64	3.54	3.37	3.20	3.01	2.92	2.82	2.72	2.61	2.50	2.38
26	9.41	6.54	5.41	4.79	4.38	4.10	3.89	3.73	3.60	3.49	3.33	3.15	2.97	2.87	2.77	2.67	2.56	2.45	2.33
27	9.34	6.49	5.36	4.74	4.34	4.06	3.85	3.69	3.56	3.45	3.28	3.11	2.93	2.83	2.73	2.63	2.52	2.41	2.29
28	9.28	6.44	5.32	4.70	4.30	4.02	3.81	3.65	3.52	3.41	3.25	3.07	2.89	2.79	2.69	2.59	2.48	2.37	2.25
29	9.23	6.40	5.28	4.66	4.26	3.98	3.77	3.61	3.48	3.38	3.21	3.04	2.86	2.76	2.66	2.56	2.45	2.33	2.21
30	9.18	6.35	5.24	4.62	4.23	3.95	3.74	3.58	3.45	3.34	3.18	3.01	2.82	2.73	2.63	2.52	2.42	2.30	2.18
40	8.83	6.07	4.98	4.37	3.99	3.71	3.51	3.35	3.22	3.12	2.95	2.78	2.60	2.50	2.40	2.30	2.18	2.06	1.93
60	8.49																		

F分布の BASIC による数値計算

表 6 F分布表 (その5)

$\alpha=0.001$

$\phi_1 \backslash \phi_2$	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	15	20	24	30	40	60	120	$\infty$	
2	998.5	999.0	999.1	999.3	999.3	999.3	999.3	999.3	999.3	999.3	999.3	999.6	999.7	999.7	999.8	999.1	999.7	999.5	999.5	999.5
3	167.0	148.5	141.1	137.1	134.6	132.8	131.6	130.6	129.9	129.2	128.3	127.4	126.4	125.9	125.4	124.9	124.5	124.0	123.5	123.5
4	74.14	61.25	56.18	53.44	51.71	50.53	49.66	49.00	48.47	48.05	47.41	46.76	46.10	45.77	45.43	45.09	44.75	44.40	44.05	44.05
5	47.18	37.12	33.20	31.08	29.75	28.83	28.16	27.65	27.24	26.92	26.42	25.91	25.39	25.13	24.87	24.60	24.33	24.06	23.79	23.79
6	35.51	27.00	23.70	21.92	20.80	20.03	19.46	19.03	18.69	18.41	17.99	17.56	17.12	16.90	16.67	16.44	16.21	15.98	15.75	15.75
7	29.24	21.69	18.77	17.20	16.21	15.52	15.02	14.63	14.33	14.08	13.71	13.32	12.93	12.73	12.53	12.33	12.12	11.91	11.70	11.70
8	25.41	18.49	15.83	14.39	13.48	12.86	12.40	12.05	11.77	11.54	11.19	10.84	10.48	10.30	10.11	9.92	9.73	9.53	9.33	9.33
9	22.86	16.39	13.90	12.56	11.71	11.13	10.70	10.37	10.11	9.89	9.57	9.24	8.90	8.72	8.55	8.37	8.19	8.00	7.81	7.81
10	21.04	14.91	12.55	11.28	10.48	9.93	9.52	9.20	8.96	8.75	8.44	8.13	7.80	7.64	7.47	7.30	7.12	6.94	6.76	6.76
11	19.69	13.81	11.56	10.35	9.58	9.05	8.66	8.35	8.12	7.92	7.63	7.32	7.01	6.85	6.68	6.52	6.35	6.18	6.00	6.00
12	18.64	12.97	10.80	9.63	8.89	8.38	8.00	7.71	7.48	7.29	7.00	6.71	6.40	6.25	6.09	5.93	5.76	5.59	5.42	5.42
13	17.81	12.31	10.21	9.07	8.35	7.86	7.49	7.21	6.98	6.80	6.52	6.23	5.93	5.78	5.63	5.47	5.30	5.14	4.97	4.97
14	17.14	11.78	9.73	8.62	7.92	7.44	7.08	6.80	6.58	6.40	6.13	5.85	5.56	5.41	5.25	5.10	4.94	4.77	4.60	4.60
15	16.59	11.34	9.34	8.25	7.57	7.09	6.74	6.47	6.26	6.08	5.81	5.54	5.25	5.10	4.95	4.80	4.64	4.47	4.31	4.31
16	16.12	10.97	9.01	7.94	7.27	6.80	6.46	6.19	5.98	5.81	5.55	5.27	4.99	4.85	4.70	4.54	4.39	4.23	4.06	4.06
17	15.72	10.66	8.73	7.68	7.02	6.56	6.22	5.96	5.75	5.58	5.32	5.05	4.78	4.63	4.48	4.33	4.18	4.02	3.85	3.85
18	15.38	10.39	8.49	7.46	6.81	6.35	6.02	5.76	5.56	5.39	5.13	4.87	4.59	4.45	4.30	4.15	4.00	3.84	3.67	3.67
19	15.08	10.16	8.28	7.27	6.62	6.18	5.85	5.59	5.39	5.22	4.97	4.70	4.43	4.29	4.14	3.99	3.84	3.68	3.51	3.51
20	14.82	9.95	8.10	7.10	6.46	6.02	5.69	5.44	5.24	5.08	4.82	4.56	4.29	4.15	4.00	3.86	3.70	3.54	3.38	3.38
21	14.59	9.77	7.94	6.95	6.32	5.88	5.56	5.31	5.11	4.95	4.70	4.44	4.17	4.03	3.88	3.74	3.58	3.42	3.26	3.26
22	14.38	9.61	7.80	6.81	6.19	5.76	5.44	5.19	4.99	4.83	4.58	4.33	4.06	3.92	3.78	3.63	3.48	3.32	3.15	3.15
23	14.20	9.47	7.67	6.70	6.08	5.65	5.33	5.09	4.89	4.73	4.48	4.23	3.96	3.82	3.68	3.53	3.38	3.22	3.05	3.05
24	14.03	9.34	7.55	6.59	5.98	5.55	5.23	4.99	4.80	4.64	4.39	4.14	3.87	3.74	3.59	3.45	3.29	3.14	2.97	2.97
25	13.88	9.22	7.45	6.49	5.89	5.46	5.15	4.91	4.71	4.56	4.31	4.06	3.79	3.66	3.52	3.37	3.22	3.06	2.89	2.89
26	13.74	9.12	7.36	6.41	5.80	5.38	5.07	4.83	4.64	4.48	4.24	3.99	3.72	3.59	3.44	3.30	3.15	2.99	2.82	2.82
27	13.61	9.02	7.27	6.33	5.73	5.31	5.00	4.76	4.57	4.41	4.17	3.92	3.66	3.52	3.38	3.23	3.08	2.92	2.75	2.75
28	13.50	8.93	7.19	6.25	5.66	5.24	4.93	4.69	4.50	4.35	4.11	3.86	3.60	3.46	3.32	3.18	3.02	2.86	2.69	2.69
29	13.39	8.85	7.12	6.19	5.59	5.18	4.87	4.64	4.45	4.29	4.05	3.80	3.54	3.41	3.27	3.12	2.97	2.81	2.64	2.64
30	13.29	8.77	7.05	6.12	5.53	5.12	4.82	4.58	4.39	4.24	4.00	3.75	3.49	3.36	3.22	3.07	2.92	2.76	2.59	2.59
40	12.61	8.25	6.59	5.70	5.13	4.73	4.44	4.21	4.02	3.87	3.64	3.40	3.14	3.01	2.87	2.73	2.57	2.41	2.23	2.23
60	11.97	7.77	6.17	5.31	4.76	4.37	4.09	3.86	3.69	3.54	3.31	3.08	2.83	2.69	2.55	2.41	2.25	2.08	1.89	1.89
120	11.38	7.32	5.78	4.95	4.42	4.04	3.77	3.55	3.38	3.24	3.02	2.78	2.53	2.40	2.26	2.11	1.95	1.77	1.54	1.54
$\infty$	10.83	6.91	5.42	4.62	4.10	3.74	3.47	3.27	3.10	2.96	2.74	2.51	2.27	2.13	1.99	1.84	1.66	1.45	1.00	1.00

3) 副プログラム GAMMA

副プログラム GAMMA は、 $\Gamma$  関数の数値計算を(17)式~(20)式に従って行う。

2440~2460 : (17)式の  $\Gamma$  関数の最良近似式の係数である。

2470~2480 : (20)式の  $\Gamma$  関数の漸近展開式の係数である。

2490 : 入力した  $\Gamma$  値を表す GX を, GW とおきかえる。漸化式の初期値を TG に設定する。

2500 :  $GX > 5$  の場合は2600に分岐し, (20)式を計算する。

2510 :  $GX < 1.5$  の場合は2530に分岐する。

2520 :  $GX > 2.5$  の場合は2550に分岐する。

2530~2540 : (18)式の  $\Gamma$  関数の漸化式を用いて, GW が  $GW \geq 1.5$  の範囲に入るまで計算を繰り返し, 2570に分岐する。

2550~2560 : (19)式の  $\Gamma$  関数の漸化式を用いて, GW が  $GW \leq 2.5$  の範囲に入るまで計算を繰り返し, つぎに移る。

2570 : (17)式の計算を行うために, (17)式に従い  $U = GW - 2$  の変換を行う。

2580~2590 : (17)式の  $\Gamma$  関数の数値計算を, 変数 U について行う。

2600：(20)式の計算を行うために、(20)式に従い  $V = \frac{1}{GX}$  の変換を行う。

2610～2620：(20)式の  $\Gamma$  関数の数値計算を、変数  $V$  について行う。

## 10. $F$ 分布表

5種類の上側確率  $\alpha = 0.050, 0.025, 0.010, 0.005, 0.001$ 、自由度  $\phi_1 = 1 \sim \infty$ 、自由度  $\phi_2 = 1 \sim \infty$  に対して、作成された  $F$  分布表を表 2～表 6 に示す。

$F$  分布表は副プログラム PFDIST のみを使用して、作成することはできない。

その理由は、(29)式に対応する文番号 2300 の  $FE \leq 0.8$  が成立すれば、(30)式に含まれる  $\beta$  関数の数値計算が必要となるからである。

この  $\beta$  関数は、(16)式の  $\beta$  関数と  $\Gamma$  関数との関係を利用して、 $\beta$  関数を  $\Gamma$  関数に変換後、 $\Gamma$  関数として数値計算を行う。

表 7 に(29)式が成立する場合、すなわち  $\Gamma$  関数による数値計算が必要となる場合の、上側確率  $\alpha$  に対する自由度  $\phi_2$  の範囲を示す。ただし、自由度  $\phi_1$  は、(29)式には関与しない。

表 7  $\Gamma$  関数による数値計算が必要となる自由度  $\phi_2$  の範囲

上側確率 $\alpha$	0.050	0.025	0.010	0.005	0.001
自由度 $\phi_2$	$\leq 5$	$\leq 6$	$\leq 8$	$\leq 9$	$\leq 12$

表 7 に示したように、例えば、上側確率  $\alpha = 0.001$ 、自由度  $\phi_2 \leq 12$  の範囲内では、 $\Gamma$  関数による数値計算が必要である。

また、(20)式の  $x$  が 5 以上の  $\Gamma$  関数の数値計算式には、 $x$  のべき乗の計算式  $x^{(x-0.5)}$  が含まれる。この  $x$  の制限値は使用したコンパイラ（富士通：F-BASIC 86 HG）では、 $x \leq 27$  ( $27^{26.5} = 5 \times 10^{37}$ ) である。

これらの自由度  $\phi_2$  と  $\Gamma$  関数の制限値との関係から、 $x = \frac{\phi_1 + \phi_2}{2} \leq 27$  の範囲内であれば、(20)式は使用できない。

例えば、上側確率  $\alpha = 0.001$ 、自由度  $\phi_1 = 60$ 、自由度  $\phi_2 = 12$  の場合は、 $x = \frac{\phi_1 + \phi_2}{2} = 36$  となり(20)式は使用できない。

上側確率  $\alpha = 0.001$ 、自由度  $\phi_1 = 40$ 、自由度  $\phi_2 = 12$  の場合は、 $x = \frac{\phi_1 + \phi_2}{2} = 26$  となり(20)式は使用できる。

したがって、 $\phi_1=60\sim 120$ の範囲内の  $F$  値は、副プログラム PFDIST を使用して、直接計算をすることはできないが、 $\phi_1=1\sim 40$ の範囲内の  $F$  値は、直接計算をすることができる。

以上の結果から、 $F$  値の算出方法は、5種類の上側確率 $\alpha=0.050, 0.025, 0.010, 0.005, 0.001$ に対して、指定する自由度の範囲から、つぎの4種類の方法に分類される。

1) 自由度  $\phi_1=1\sim 40$ , 自由度  $\phi_2=1\sim 120$

この範囲内では、副プログラム PFDIST を直接使用して、 $F$  値を算出する。

2) 自由度  $\phi_1=60\sim 120$ , 自由度  $\phi_2=1\sim 120$

この範囲内では、 $\Gamma$ 関数の数値計算の制限値を超えるから、(6)式の  $F$  分布の分布関数の関係を利用して、自由度  $\phi_1$  と自由度  $\phi_2$  を入れかえ、 $F$  値を算出する。

例えば、上側確率  $\alpha=0.001$ , 自由度  $\phi_1=60\sim 120$ , 自由度  $\phi_2=1\sim 120$ の場合に、(6)式を適用すると、下側確率  $1-\alpha=0.999$ , 自由度  $\phi_1=1\sim 120$ , 自由度  $\phi_2=60\sim 120$ の  $F$  値を計算することになり、上側確率  $\alpha=0.001$  に対する制限値  $\phi_2\leq 12$  は、無視することができる。

3) 自由度  $\phi_1=\infty$ , 自由度  $\phi_2=1\sim 120$

この範囲内では、(8)式の  $F$  分布と  $\chi^2$  分布との関係を利用して、 $\chi^2$  値を副プログラム PCHI2 を使用して求め、これから  $F$  値を算出する。

4) 自由度  $\phi_1=1\sim 120$ , 自由度  $\phi_2=\infty$

この範囲内では、(7)式を利用して3)と同じく  $\chi^2$  値を求め、これから  $F$  値を算出する。

ただし、自由度  $\phi_1=1$ , 上側確率  $\alpha=0.005$ および  $\alpha=0.001$ の  $F$  値は精度不良のため、この  $F$  分布表からは除く。

## 結 語

この BASIC プログラムは  $F$  分布について、上側確率  $\alpha=0.05\sim 0.001$ , 自由度  $\phi_1=1\sim 120$ , 自由度  $\phi_2=1\sim 120$ の範囲内の任意の  $F$  値を算出することができる。

特に、上側確率  $\alpha=0.001^{(4)}$ についての  $F$  値も算出できることが、この BASIC プログラムの特徴である。

ただし、上側確率  $\alpha=0.05\sim 0.001$ , 自由度  $\phi_1=120\sim \infty$ , 自由度  $\phi_2=120\sim \infty$ の範囲内では、下限の自由度120および上限の自由度 $\infty$ に対する、 $F$  値のみは保証されるが、その中間の自由度  $120 < (\phi_1, \phi_2) < \infty$  に対する、 $F$  値は保証されない。

また、副プログラム FDIST を使用して、任意の自由度の  $F$  値に対する、上側確率  $\alpha(\geq 0.001)$  を算出することもできる。

参 考 文 献

- (1) 大村 平, 今田直孝: 推測統計の FORTRAN, 16—17, 48—67, オーム社, 1972.
- (2) 近藤良夫, 舟阪 渡: 技術者のための統計的方法, 61—65, 67—68, 634—637, 共立出版, 1971.
- (3) 川口俊郎, 川上弘泰: 正規分布および  $\chi^2$  分布の BASIC による数値計算, 九州産業大学国際文化学部紀要, 第 8 号, 185—203, 1997.
- (4) N.L. JOHNSON, F.C. LEONE: Statistics and Experimental Design In Engineering and the Physical Sciences, 467—470, John Wiley & Sons, Inc., New York, 1964.